

アルコール・薬物・ギャンブル等の3つの依存症に対する総合支援のための対策を実施

3 依存症共通の対策

アルコール依存症対策
薬物依存症対策
ギャンブル等依存症対策

- 依存症相談拠点設置（こころの健康センター）
- 依存症相談員の配置
- 依存症相談員による相談
- 依存症専門相談（専門医による相談）
- 依存症支援者育成研修事業
- 普及啓発・情報提供事業（市民向け講演会等）
- 依存症者家族支援事業
- 各区保健福祉センターにおける相談・支援
- 治療拠点及び専門医療機関の選定
 - 【治療拠点機関】大阪精神医療センター（3依存）
 - 【専門医療機関】大阪精神医療センター（3依存）・藤井クリニック（3依存）
小谷クリニック（アルコール）・悲田院クリニック（アルコール）
にじクリニック（アルコール・ギャンブル等）

各依存症個別の対策

アルコール依存症対策

- 酒害教室
- 警察・医療機関との連携

薬物依存症対策

- 乱用防止の普及啓発

ギャンブル等依存症対策

- 当事者支援プログラム事業

ゲーム依存症対策

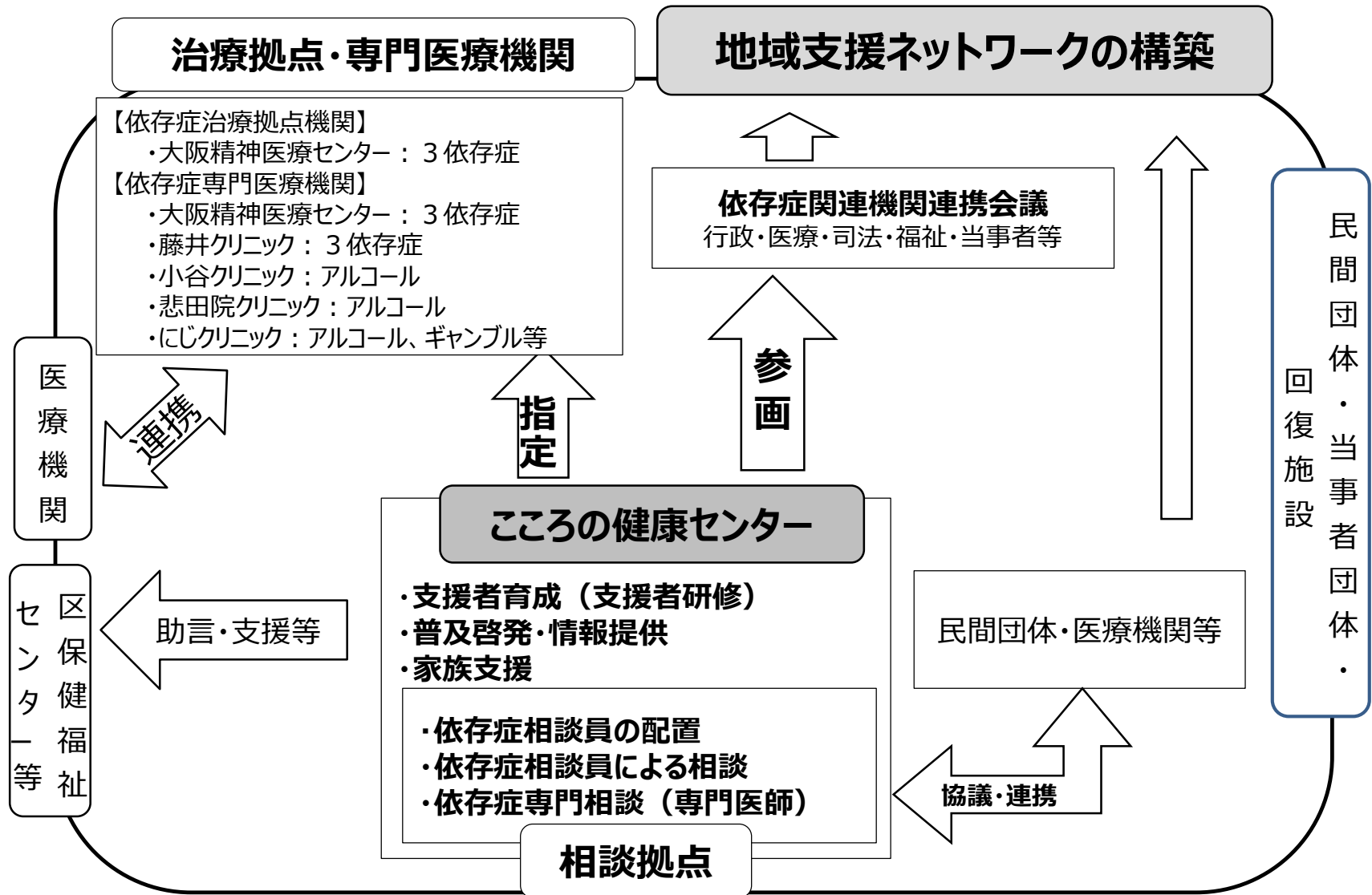
- 支援者の育成

大阪府・堺市との共同事業

アルコール依存症対策
薬物依存症対策
ギャンブル等依存症対策

- 行政機関支援者向け研修事業
- 医療機関職員専門研修事業
- 依存症関連機関連携会議
- ギャンブル等依存症啓発事業
- 依存症相談対応力強化事業（土日電話相談）

大阪市の依存症対策について



令和2年度の取組み状況 その1

1. 依存症相談員による相談

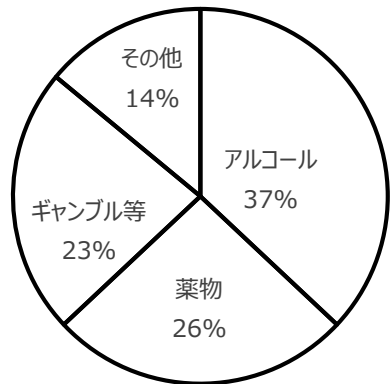
	依存種別				合計
	アルコール	薬物	ギャンブル等	その他	
件数	376	264	229	137	1006
(%)	37	26	23	14	100

援助手段			
電話	面接	その他	合計
862	144	0	1006
86	14	0	100

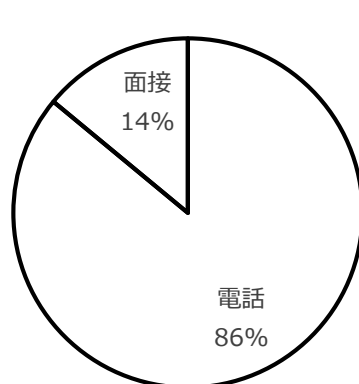
性別			
男性	女性	不明	合計
744	250	12	1006
74	25	1	100

相談者（重複あり）				
本人	家族	支援者	その他	合計
353	457	216	54	1080

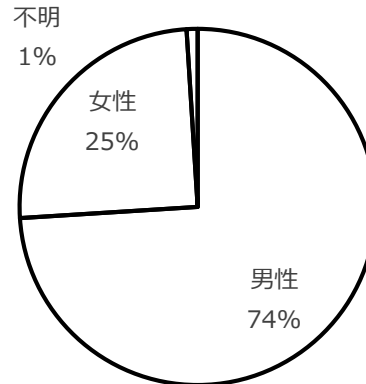
【依存種別】



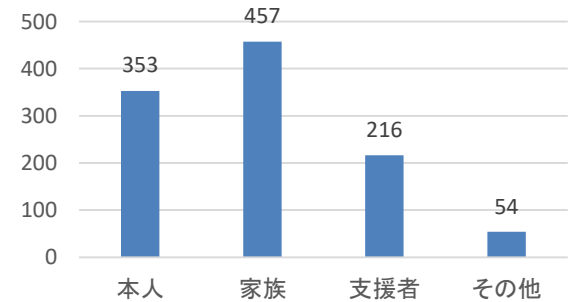
【援助手段】



【性別】



相談者（重複あり）

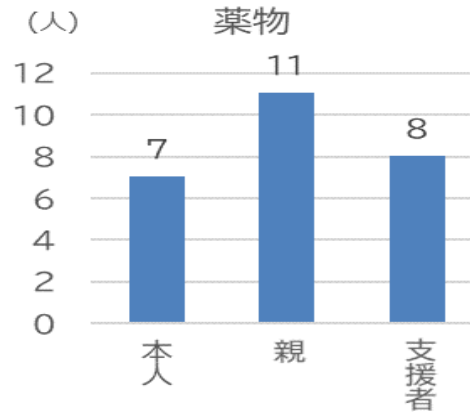
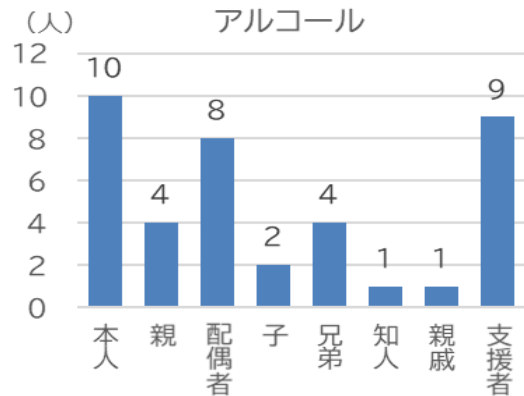


令和2年度の取り組み状況 その2

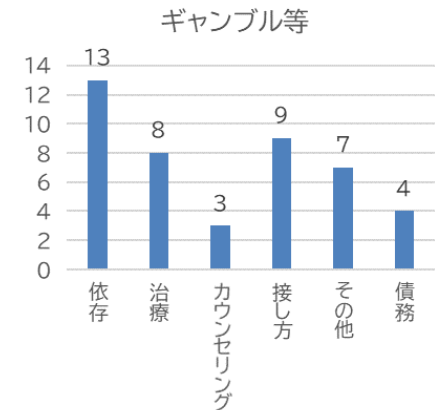
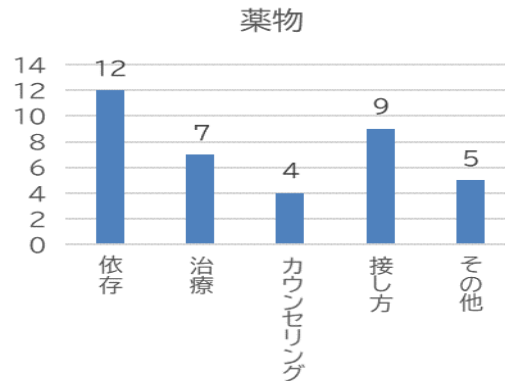
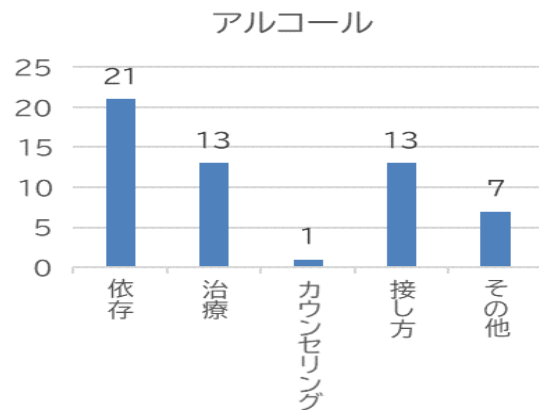
2. 専門医による専門相談 (3 依存症、月 1 回開催、1 回 3 枠)

	アルコール	薬物	ギャンブル等
実施回数	12	9	9
相談件数	22	15	18
相談者数	39	26	32

相談者内訳 重複あり



相談内容 重複あり



令和2年度の取り組み状況 その3

3. 講座・教室・研修

	対象		内容（※共同事業）	実施回数	参加人数	依存種別等
	市民	支援者				
1	○	○	市民講座	6回	132人	3依存・各2回
2	○	(○)	家族教室	10回	63人	アルコール・薬物 依存各3回、 ギャンブル等 依存6回
3	○		薬物乱用防止教室（高校生）	1回	97人	薬物
4	○	○	酒害教室（3区：月2回、9区：月1回）	136回	1066人	アルコール
5		○	支援者育成研修（飲酒と健康を考える会）	4回	92人	アルコール
6		○	行政機関支援者向け研修（※）	1回	91人	ギャンブル等
7		○	医療機関職員専門研修（※）	3回	166人	3依存

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家族教室2回開催中止

4. 当事者支援専門プログラム事業

参加者5名（内訳：6回修了3名、中断2名）

5. 啓発・その他

	対象		内容（※共同事業）	依存種別等
	市民	支援者		
1	○	○	啓発リーフレット作成	3依存
2	○		成人の日記念のつどい配付リーフレット作成	薬物
3	○	○	ギャンブル等依存症ポスター作成（※）	ギャンブル等
4	○		飲酒運転防止に係る警察・医療連携	アルコール

【ポスター配付・掲示先】 300枚作成

- ・各区保健福祉センター
- ・大阪メトロ掲示板（22駅）
- ・大阪モルレル掲示板（18駅）
- ・競艇場・競輪場・競馬場外馬券売場等



支援者育成研修（飲酒と健康を考える会） 1

◆アルコール関連問題に係る支援者育成研修

対象者：医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・
相談支援事業所・行政職員等アルコール関連問題に係る支援者
+ 当事者

内 容：・アルコール関連問題に係る講義
・事例検討

※仕事が終わってから参加できるよう平日夜間帯に開催

参加者：

	参加者数	内 訳 (%)			
		行政	医療系	包括・支援事業所	当事者他
平成30年度	142人	29.6	11.9	45.8	12.7
令和元年度	116人	20.7	12.9	49.2	17.2
令和2年度	92人	44.6	10.9	33.6	10.9

◆アルコール関連問題に係る支援者育成研修

課 題：特に高齢者のアルコール問題について地域包括支援センター等地域の支援機関が対応に苦慮している事例が多いため、引き続き具体的な支援方法について学ぶ機会が重要。
地域のアルコール関連問題解決に取り組む支援者同士のネットワークづくりが必要。

○令和4年度の計画

対象者：同じ

内 容：・依存症特にアルコール問題について基本的な知識の習得
・事例を通し当事者や支援者からの体験・経験に基づく支援方法の検討
・支援者のネットワークづくり

実施回数：年2回

※依存症全般の支援者間の交流については、依存症OAC（大阪アディクションセンター）ミニフォーラムにおいてすすめていく